

授業科目名 <英訳>	現代史学(特殊講義) Contemporary History (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 准教授 藤原 辰史					
配当 学年	3回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2017・ 前期	曜時限	水3	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	食と農の現代史										
【授業の概要・目的】											
とりわけ20世紀以降、食と農はどのように変化を遂げてきたのか？ ドイツと日本を中心に、食 べものをめぐる制度や文化や技術の変遷を追う。この講義の目的は、現代史の知識を蓄えること ではない。あるいは、現代史の概略をつかむことでもない。現代史を批判的に眺める目を獲得し、食 と農の未来を構築するためのヒントを考えることである。											
【到達目標】											
現代史における食と農の変遷について理解し、現代社会の食と農の問題を広いパースペクティブで とらえることができるようになる。											
【授業計画と内容】											
以下の課題について、1週から3週かけて講義する予定である。											
1 食をめぐる研究の方法 2 明治大正期の食 3 アジア太平洋戦争までの食 4 戦後の食 5 牛乳の歴史学 6 品種改良の歴史学											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
学期末にレポートを課す。											
【教科書】											
使用しない											
【参考書等】											
(参考書) 以下の本に目を通しておくと、講義の理解が深まる。 池上甲一・原山浩介編 『食と農のいま』 藤原辰史 『稲の大東亜共栄圏』 藤原辰史 『ナチスのキッチン』 藤原辰史 『カブラの冬』 ポール・ロバーツ 『食の終焉』											
----- 現代史学(特殊講義) (2)へ続く -----											

現代史学(特殊講義) (2)

(関連URL)

<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~fujihara/>

[授業外学習(予習・復習)等]

食と農に関する新聞・雑誌記事を読んで、現代社会の食と農への関心を深めておくこと。

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。